

バスケットボール								○	○	○	○	○	○	○	
自転車										○	○	○		○	
フットサル								○	○	○		○	○	○	
水泳									○	○		○	○		
ボート(室内/室外)							○	○	○						
卓球							○	○	○		○	○			
テコンドー											○				
テニス								○	○	○		○	○		

8 重要日程

2015年5月20日(水)	アクレ申請締め切り
3月10日(火)	Inas 選手登録申請書類提出締め切り (JPC 宛)
4月4日(土)	Inas 選手登録申請書類提出締め切り (Inas 宛)
4月5日(日)	1次エントリー費支払い締め切り
5月6日(月)	Entry by Number オンラインエントリー開始
5月11日(月)	Entry by Name オンラインエントリー開始
5月20日(水)	Entry by Number オンラインエントリー締め切り
7月9日(月)	2次エントリー費支払い締め切り
7月15日(月)~19日(日)	Pre-DRM (オンラインにて)
7月30日(金)	Entry by Name オンラインエントリー締め切り (これ以降の変更は不可)
7月31日(土)	Inas 登録締め切り
8月1日(土)	選手団エントリー締め切り
8月3日(月)	最終エントリー費支払い締め切り
9月14日(月)~16日(水)	DRM
9月20日(日)	開会式
9月27日(日)	閉会式

9 特記事項

- (1) 2015年7月31日(金)時点でInas マスターリストに名前が掲載されていない選手の参加は不可
- (2) ドーピングコントロールを実施する。使用薬物調査については各競技団体で十分な準備を行うこと
- (3) 大会ウェブサイト：<http://www.fededi.org.ec>

2 選手団派遣方針・編成方針

1) 選手団本部体制について

■ 団長について

野村一路先生 (Inas Asia スポーツディレクター)

■ 医務体制について

本部スタッフ(医務)として、帯同医師2名を配置

-茨城県石岡第一病院 内科医長 加藤徹男先生

-大阪医科大学リハビリテーション科 羽森貫先生

■ 本部体制について

本部スタッフとして：JPCより5名を配置の予定(中森・木下・黒田・金子・與品)

：外部通訳2名(出村・宮岡)

：旅行社2名(白坂/グロリアツアーズ・清野/JTB)

2) 選手団編成方針

日本代表選手団は、活力ある日本を代表するに相応しい選手・役員をもって編成すること。

なお、選手は当該国際競技連盟より出場権を与えられ、かつ十分な活躍が期待されるとして、当該競技団体が選考し、決定すること。

3) 選手・コーチ・スタッフ等の選考基準(AT/SW/FB/BAより提出あり)

■ 選手選考基準

当該競技団体が、次の全ての条件を満たす者を日本代表選手として選考し決定すること。

- 1 本大会の参加資格を満たしている者
- 2 競技団体が決定する選考基準を満たしている者
- 3 本大会でメダルの獲得の可能性のある者
- 4 医学的観点から、日本代表選手として推薦できる者

■ コーチ・スタッフ等選考基準

当該競技団体が、次の全ての条件を満たす者をコーチ・スタッフ等として選考し決定すること。

- 1 本大会の参加資格を満たしている者
- 2 競技団体が決定する選考基準を満たしている者
- 3 医学的観点から、コーチ・スタッフとして推薦できる者

※ 競技団体は必ず選考基準を明確にし、選考委員会等を設置するなど団体内で機関決定した選手・コーチ・スタッフ等を決定すること。

※ 選考結果に対する不服申し立てがある場合は、競技団体内に不服審査委員会等を設置し、処理すること。

※ いかなる理由でも参加を取止める場合は、書面にてJPCに連絡すること。

※ 帯同コーチ・スタッフ、それぞれの役割を明確にすること。

※ 選手に対するスタッフ数や役割が適切でないと思われる場合は、競技団体と協議の上、JPCとして調整する場合があります。

3 参加者の決定・参加資格・メディカルチェック・競技エントリーについて

1) 参加者の決定

競技団体による選手・コーチ・スタッフ等の決定

- ・ 選考基準を元に選考委員会等団体での決定とすること。
- ・ 選手に参加資格があることを確認すること。
- ・ JPC 選手団編成方針、選手・コーチ・スタッフ等選考基準に沿った決定とすること。
- ・ チームドクターによるメディカルチェック・健康審査にて、健康状態に問題がないことを確認する。

2) 参加資格について

■参加資格の確認

【資料1】の通り、競技ごとに確認ください。

■ Inas 資格申請登録について

【別紙2】2月4日（水）メールにて連絡の通り

■MQS について

【資料1】の通り、競技ごとに確認ください。

3) 健康状態（メディカルチェック）について

■ 開催地が変更され、高地での実施となりましたので、メディカルチェックについては、参加者に以下のものを提出していただくよう依頼しました。（現在、提出していただいた書類をメディカルチェック部会・帯同医に提出するための準備中）。

- ① 通常健康診断の結果
- ② 呼吸機能検査結果（スパイログラフィー等検査）
- ③ 航空機による移動の既往歴の有無

■ 競技団体チームドクターによる確認に加え、メディカルチェック部会および帯同医にも情報を共有し、参加者の健康状態の把握に努めると同時に、必要がある場合は個別に対応を行います。

【現地での高地対策】

- 小型高濃度酸素発生器オキシーズ（30台）：必要に応じ、個別の酸素補給の手助けとします。
- パルスオキシメーター（8台）：血液中の酸素飽和度を測定し、呼吸不全を未然に防ぐための手助けとします。
- 医師2名を帯同し、現地での医療サポートに当たります。また国内ではメディカルチェック部会が待機し、現地で対応が難しい場合は、呼吸器専門医からの指示がすぐに取りれるよう、帯同医との連携を密にして対応に当たります。

4) 競技エントリー

■エントリー種目の確認・競技エントリー

6月30日エントリー終了

*水泳リレー等確認中の事項あり

■ファイナルエントリー〆切日

【国内締め切り】 4月30日（木）

*ファイナルエントリー書類到着の時期により延期の可能性あり

【組織委員会締め切り】 7月31日（金）

※エントリー費支払い締め切り 2015年8月3日（月）までに支払い完了

※キャンセルポリシー

1stエントリー後、2ndエントリーまで：1stエントリーフィー返金無し

2ndエントリー後は組織委員会の判断による（Inas Executive Director との相談のうえ決定）

（注）キャンセルは参加者の意思でコントロールできない、やむを得ない状況の場合のみ

1) 参加費について

■ 参加費についての考え方

助成金の対象となる経費（参加費用・キャピテーションフィー・渡航費・選手団ユニフォーム代等）については、平成 27 年度 JPC 指定強化助成金（競技団体配分強化費）の中から支出可能となる予定。

■ 助成金申請手続きについて

1 次エントリー費については、平成 26 年度中に支払い期限となることから、平成 26 年度指定強化助成金の追加分として扱い、期日までに決定された選手・コーチ・スタッフ等の費用は、JPC から組織委員会に支払う。

それ以外の費用については、平成 27 年度強化助成金申請時に予算計上し、各競技団体から支払いになる予定。

■ 参加費用	参加者 1 名	USD26.00
	キャピテーションフィー 選手 1 名	USD45.00
	【選手 1 名 USD71.00 / その他参加者 1 名 USD26.00】	
	公式ホテル(5 つ星) : 1 名 1 泊	USD220.00 (3 食付)
	公式ホテル (4 つ星) : 1 名 1 泊	USD120.00 (3 食付)
	スポーツ Complex 内宿泊施設	: 1 名 USD50.00 (3 食付) 最大 320 名まで

2) 渡航について

■ 渡航についての考え方

- ・ 渡航は原則として各競技団体で行う。
- ・ 渡航日程は、競技・トレーニング・クラス分け等の日程を十分考慮すること。
- ・ 個人による渡航は可能な限り避け、原則チーム・グループで渡航すること。

■ 渡航手続き

- ・ 渡航を手配する旅行業者は、JPC にて複数の見積り・条件等を比較のうえ決定する。
- ・ JPC と旅行業者による調整後、渡航日程等を決定する。
7/17 (金) 現在の渡航一覧添付

■ 渡航費用

- ・ 渡航費用は、平成 27 年度強化費助成金を充当することが可能

■ 助成金申請手続きについて

- ・ 平成 27 年度強化費助成金申請要項に記載する。

■ 公式空港および到着後の輸送について

- ・ 公式空港：Jose Joaquin de Olmedo (ホセ ホアキン デ オルメード) 国際空港
- ・ 空港内にレセプションサービス設置
- ・ 空港までの送迎・用器具輸送は組織委員会が用意する。

3) 宿泊先について

■大会公式ホテル（未決定）

①Hilton Colon Guayaquil：

<http://www3.hilton.com/en/hotels/ecuador/hilton-colon-guayaquil-GYEH1HF/index.html>

②Sonesta Hotel：

<http://www.sonesta.com/guayaquil>

③Hotel Courtyard by Marriot

<http://www.marriott.com/hotels/travel/gyecy-courtyard-guayaquil/>

④Sheraton Hotel

<http://www.starwoodhotels.com/sheraton/property/overview/index.html?propertyID=1159>

⑤ Hotel Oro Verde

<http://www.oroverdeguayaquil.com/es/>

⑥ Howard Johnson Hotel

<http://www.hojo.com/hotels/ecuador/guayaquil/howard-johnson-hotel-guayaquil/hotel-overview>

⑦Sport Complex “Dr. Roberto Gilbert” of Fedeguayas (180 ユニット)

⑧Sport complex Fedeguayas (140 ユニット)

5 クラス分けについて

1) クラス分けについて

- ・水泳、陸上、卓球についてはクラス分けステイタス必要
 - * 今後調整事項だが以下の方針にて行う予定
 - 1) 先着順：水泳/希望リスト提出済み（7/21）3名
 - 2) Inas マスターリスト掲載要
 - 3) クラス分けはIFの責任において運営される
 - 4) ある競技のクラス分けにおいて「資格無し」となった選手について他競技に出場できる可能性有り

重 要

Inasはクラス分けにおいて、意図したかどうかにかかわらず、いかなる不正も認めない

【クラス分けに関する重要注意事項】

- ・予定された時間からの変更は受け付けない
- ・MDF/TSAL等、関係書類の原本を持参
- ・クラス分け同意書に署名が必要
- ・パスポートを持参すること

2) クラス分け日程

陸上：9月17日～20日（IPCクラス分け）

水泳：9月19日～21日（IPCクラス分け）

6 ユニフォームについて

1) 選手団ユニフォームについて

- ・平成27年度に実施される障がい別総合国際大会（複数競技の参加が見込まれるIBSA/IWAS/Inasの日本選手団ユニフォームは、共通デザインのユニフォームを製作予定。
- ・参加予定者分のサイズ×切は、6月30日を予定。
- ・費用はJKA助成金等の中から支出予定。

- ・アイテムは、スポーツウェア（ジャージ）上下、ポロシャツ1枚、キャップを製作予定。

2) 競技別ユニフォームについて

- ・現段階でユニフォームチェック等の連絡はないが、各競技のユニフォーム規定を遵守すること。
- ・競技別ユニフォーム製作費用は、平成27年度指定強化助成金から支出可能となる予定。

3) 渡航時の服装

- ・昨今の世界情勢を鑑み各競技に任せるものとする。

7 その他

1) ドーピング検査について

- ・ドーピング検査は実施予定。各競技において選手への指示を徹底すること。
- ・TUE申請の必要がある選手は大会開始30日以上前にTEU申請書をInas Anti-Doping委員会へ提出すること。

2) プロテストについて

- ・各競技の監督、ヘッドコーチは、競技規則を必ず確認し、定められた通貨・金額で、常にプロテストフィー（抗議料）を現金で準備しておくこと。
- ・抗議・上訴が受け付けられる内容やタイミングについても、必ず競技規則を確認しておくこと。

3) メディア対応・報道等について

メディア・報道関係者に対応するアクセシビリティに関する情報が現在ありません。選手の活躍が数多く報道されることにより、日本国内での障がい者スポーツの理解が進むことが期待されます。各競技の選手・役員は競技に支障のない範囲でメディアへの協力をお願いします。（チーム内で担当者を決めておいてください。）

4) 知的財産等について

現時点では、組織委員会から本大会に関するロゴ使用規定、撮影制限、SNSガイドライン等はありませんが、JPCとしてはパラリンピック・アジアパラに準拠することを予定しております。参加者の肖像権を営利・非営利で使用すること、参加者のメディア行為、参加者のSNS投稿等については、各競技団体・チームにてご注意ください。

5) 結団式・解団式の実施について

- ・式典実施は未定です。

6) 主将・旗手について

- ・必要が生じた場合は、日本代表選手団として主将・旗手を指名する場合がありますので、ご協力をお願いします。

7) 報告書の提出について

帰国後、報告原稿並びに写真を提出していただきますので、ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。

- ① 原稿の内容及び文字数：チーム単位で、1200～1500字程度
- ② テーマ：当初目標と結果、結果に対する評価、課題、感想、各国の参加状況、競技の情勢
- ③ 資料：参加人数（クラス別・国別等）、個人成績一覧表、全競技リザルト

写真：報告書の口絵、当協会季刊誌等のイメージカットとして使用しますので、各競技・チームで5枚～10枚程度を、JPEG形式200kb以上でご提供下さい。